

mirai@公民共働事業“建設テック実証プロジェクト第1弾”

『公共工事の写真管理の効率化』に係る実証プロジェクト開始！

mirai@
city.fukuoka

福岡市は、下水道工事における出来形・品質・安全管理等の確実性を担保するため、「福岡市写真撮影要領（下水道）」に基づき、工事事業者に対して各施工段階で撮影した写真の提出を求めています。

一方で、工事事業者は1万枚以上撮影する事もあり、日々大量に撮影する写真整理に多くの時間を要しているほか、必要な写真の撮り忘れを防ぐための対策も求められています。

この度、福岡市が発注する下水道工事において、AIを活用した写真の自動整理機能や未撮影写真の検出、工事写真台帳の自動作成機能などを導入し、現場の作業負担軽減や、撮影漏れの防止を図るプロジェクトを実施しますのでお知らせします。

1 実施事業者（2社） ※詳細は「5 提案企業の技術概要紹介」参照

- ・株式会社建設システム
- ・株式会社ルクレ

K KENTEM

INL

2 実証プロジェクトの概要

現在人手で行っている写真管理業務の一部を自動化し、作業の効率化や撮影漏れ防止を図ります。

〈主な検証項目〉

- ・写真整理から台帳作成まで一連の業務における時間の削減効果
- ・提出すべき写真の撮影漏れ防止効果

3 実証時期

令和8年5月28日以降順次開始

4 実証場所

福岡市発注の下水道工事（福岡市西区豊浜1丁目 他）



【問い合わせ先】

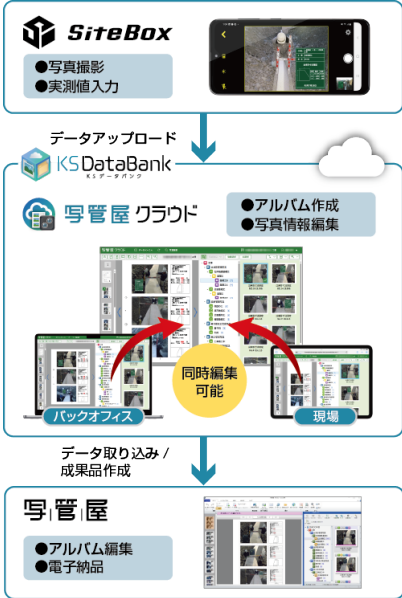

■ プロジェクトに関すること
道路下水道局
政策調整課
担当：渡邊
電話：707-3849（内線3116）

■ mirai@に関すること
経済観光文化局
創業推進部（企業連携担当）
担当：高村
電話：711-4879（内線1219）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5 提案企業の技術概要紹介

企 業 名	プロジェクト概要
<p>株式会社建設システム</p> 	<p>■実証実験の概要</p> <p>○福岡市の写真撮影要領（下水道）に基づいた工種ごとの撮影項目の表示や電子小黒板の作成、撮影写真の整理業務を自動化することで、写真管理業務に起因する作業時間の削減効果等を検証</p> <p>■特徴</p> <p>○撮影するだけで、工事名・日付・場所・内容などの電子小黒板情報が写真に自動的に紐づき、仕分けから工事写真台帳作成まで全自動で対応</p> <p>○AI を利用した写真の自動仕分けに対応</p>
<p>株式会社ルクレ</p> 	<p>■実証実験の概要</p> <p>○写真をクラウドで一元管理し、現場の撮影者に限らず、事務所や協力会社など関係者が並行して写真整理を行える体制を構築することで、業務効率化の効果等を検証</p> <p>■特徴</p> <p>○写真を撮影するだけで、AI により自動的にクラウド上で仕分けされ、関係者間でリアルタイムに情報共有が可能</p> <p>○専門知識がなくても直感的に操作できる、使いやすい仕様</p>

【参考】

mirai@共働事業 建築テック実証プロジェクト

福岡市では、建設現場における生産性向上や人材確保などに繋げるための支援事業「建設 DX」に取り組んでいます。

この度、建設現場における「業務効率化」、「人材育成」、「安全管理」といった課題の解決のため、3つのテーマにおいて共に行政課題に取り組んでいける提案を募集しました。

- ① **工事過程の記録として日々撮影する膨大な量の写真整理の効率化及び撮影漏れの防止**
- ② 熟練技術者の属人的スキルの抽出可視化による若手層への技術継承
- ③ 熱中症未然防止のための事前検知と早期発見

今回開始するのは
テーマ①